



脚本家 水木洋子没後20年記念 - 市川市水木洋子市民サポーターの会の軌跡

「水木洋子市民サポーターの会」は発足から20周年を迎えました。その活動は発足前年の水木の蔵書や生活資料の整理から始まり、以降水木邸の公開や顕彰事業として映画鑑賞会や出版物発行など多岐にわたっています。長期にわたる活動は水木のみならず戦後の映画界についての顕彰、また、地域文化の振興と、広範囲なものであり密度の濃いものとなりました。

2023年3月にサポーターの会は区切りをつけることとなりました。本展ではその功績を称え、没後20年を迎える水木洋子の顕彰とともに、サポーター活動の歩みをご紹介します。



水木 洋子(みずき ようこ)

1910(明治 43)~2003(平成 15)
東京生まれ 本名 高木富子

『女の一生』(昭和 24)で映画の脚本家としてデビュー。綿密な調査と巧みなセリフ表現で、日本映画の黄金時代を支える名作シナリオを世に生み出した。その一方でラジオ、テレビ、演劇にと幅広く活躍した。水木の自宅、自筆原稿など所有財産のすべてが市川市に寄贈され、自宅の公開、顕彰事業が進められている。

〔1947~2003 年市川市八幡在住〕

サポーターの会の軌跡



「また逢う日まで」原稿



「純愛物語」取材手帳

「浮雲」箱書き

「ここに泉あり」原稿

市川市文学ミュージアム
Ichikawa City Museum of Literature

交通アクセス

【JR 総武線】本八幡・下総中山駅より徒歩 15 分 【都営新宿線】本八幡駅より徒歩 20 分
【京成線】京成八幡駅より徒歩 20 分、京成鬼越駅より徒歩 10 分
【京葉道路】京葉市川インター下車 5 分(駐車場はありますができるだけ公共交通機関をご利用ください)

お問合せ

〒272-0015 千葉県市川市鬼高 1-1-4 生涯学習センター(中央図書館 2 階)
TEL 047-320-3334 FAX 047-320-3356
<https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul06/litera.html> Twitter:@nasi_ryman

文学ミュージアム
Twitter

